見積参考資料

業務委託名　　北区表町一丁目地内下水管きょ清掃業務委託（雨水貯留管等）

１　本見積参考資料は、積算数量の積算内容を示したもので、契約上の拘束力を生じるものではなく「設計図書」とはならない。

　よって、目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。

２　設計金額の表示単位

本業務の設計金額の表示単位は、以下のとおりとする。

項　目	数値処理	単位（円）
１．第１～８代価表	１円未満切り捨て	円止まり
２．第１～７単価表	１円未満切り捨て	円止まり
３．直接作業費	－	円止まり
４．共通仮設費率分	千円未満切り捨て	千円止まり
５．共通仮設費	－	円止まり
６．純作業費	－	円止まり
７．現場管理費	千円未満切り捨て	千円止まり
８．作業原価	－	円止まり
９．一般管理費等	作業価格が万円単位になるように、１０，０００円未満を端数調整	円止まり
10．作業価格	－	万円止まり
11．消費税相当額	－	円止まり
12．設計金額	－	円止まり

３　積算条件

本工事は、下記の条件で積算を行っている。

①　資材単価適用年月　　令和８年１０月

「岡山市公共工事設計資材単価表」は、以下の方法で確認できます。

a)閲覧される場合

岡山市役所　本庁３階行政事務管理課公文書センター

b)ホームページより閲覧

https://www.city.okayama.jp/jigyosha/0000004448.html

上記ページの「岡山市公共工事設計資材単価について」に掲載しております。

４　積算歩掛基準について

１）管路施設清掃工について

・公益社団法人　日本下水道協会の下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-　2020年版の歩掛を採用している。

・第1号代価表　高圧洗浄車清掃工（揚泥車　4t使用）について、日当たり作業量は525m/日を見込んでいる。管きょ、管径250mm、土砂深率は10%を見込んでいる。

・第2号代価表　高圧洗浄車清掃工（揚泥車　4t使用）について、日当たり作業量は275m/日を見込んでいる。管きょ、管径380mm、土砂深率は15%を見込んでいる。
・第3号代価表　高圧洗浄車清掃工（揚泥車　4t使用）について、日当たり作業量は380m/日を見込んでいる。管きょ、管径380mm、土砂深率は10%を見込んでいる。
・第4号代価表　高圧洗浄車清掃工（揚泥車　4t使用）について、日当たり作業量は150m/日を見込んでいる。管きょ、管径600mm、土砂深率は15%を見込んでいる。
・第5号代価表　土砂処分工・揚泥車運搬工（4t使用）について、DTは小数第2表示（小数第3位を四捨五入）で計上している（公益社団法人　日本下水道協会の下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-　2020年版のp.53【参考】に記載してある算定式で算定している）。
　また、積算条件は以下のとおりとする。ただし、これについては積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

状況の区分		片道運搬距離
DID区間率70%未満30%以上の地区、昼間運搬の場合	揚泥車 4t	14km

・第6号代価表　吸引車清掃工（強力吸引車8t使用）について、日当たり作業量は167m/日を見込んでいる。管きょ、管径900mm、土砂深率は15%を見込んでいる。
・第7号代価表　吸引車清掃工（強力吸引車8t使用）について、日当たり作業量は135m/日を見込んでいる。管きょ、管径1000mm、土砂深率は15%を見込んでいる。
・第8号代価表　土砂処分工・吸引車運搬工（8t使用）について、DTは小数第2表示（小数第3位を四捨五入）で計上している（公益社団法人　日本下水道協会の下水道施設維持管理積算要領-管路施設編-　2020年版のp.57【参考】に記載してある算定式で算定している）。
　また、積算条件は以下のとおりとする。ただし、これについては積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

状況の区分		片道運搬距離
DID区間率70%未満30%以上の地区、昼間運搬の場合	強力吸引車 8t	14km

3）共通仮設費率、現場管理費率、一般管理費率について
・下水道管路管理積算資料-2023-（公益社団法人　日本下水道管路管理業協会）に基づき算定している。
・共通仮設費率、現場管理費率については以下の積算条件を適用している。

補正率の工種区分	管路施設清掃工の率分
作業地域区分	市街地（DID補正）

※共通仮設費率については、P.17の表1-4.3の値を用いている。
※共通仮設費率の補正については、補正係数の適用条件を上記表のとおりとし、表1-4.3で選定した共通仮設費率に補正係数を乗じて端数処理（小数第3位を四捨五入し、第2位）を行っている。
※現場管理費率については、P.22の表1-4.11の値を用いている。
※現場管理費率の補正については、補正係数の適用条件を上記表のとおりとし、表1-4.11で選定した現場管理費率に補正係数を乗じて端数処理（小数第3位を四捨五入し、第2位）を行

っている。

・一般管理費等率については以下の積算条件を適用している。

前払金支出割合区分	補正なし
契約保証の方法	金銭的保証

※一般管理費率については、P.26の式1-3により算出している。

※一般管理費率の補正については、補正係数の適用条件を上記表のとおりとし、式1-3により算出した一般管理費率を端数処理（小数第3位を四捨五入し、第2位）した値に契約保証による補正率を加算している。

5）その他

・本業務は夜間作業のため、労務単価の夜間補正（PM9～AM6）を行っている。

5　採用単価について

1）労務単価について

以下のとおり労務単価を適用している。

名称	単位	暫定適用職種
清掃技師	人	一般土木世話役
清掃作業員	人	特殊作業員

2）決定単価について

業務の単価については、下記を採用している。

名称	規格	単位	単価(円)	備考
強力吸引車損料	210kW、8t	時間	14,200	
高圧洗浄車損料	147kW、4t	時間	8,930	
揚泥車損料	147kW、4t	時間	5,880	
給水車損料	132kW、4t	時間	6,010	
土砂処分費	下水汚泥	m3	39,000	

上記積算条件は、当該業務の許容価格算出のために使用した条件であり、入札の公平性並びに円滑化を図るため示したもので、入札者の判断基準等を拘束するものではない。よって、上記記載の条件は、入札者の判断基準と相違する場合であっても変更の対象としない。